

新・八幡の歴史 14回目

石清水八幡宮が宮寺であることからあらゆる階層の人から崇敬を受け、
荘園等の寄進を受けた。

そこで、出口さんは石清水八幡宮領での具体的な出来事を話された。

1235年5月鎌倉時代のこと、八幡宮領の綴喜郡薪荘(たきぎのしょう)…薪
を準備して進上…で北隣の興福寺領大住荘との間で水争いが起こり、殺人事
件が起きる。やられた興福寺衆徒が6月3日、報復として薪荘に入り、64戸
を焼き払い、神人2人を殺害するまでに。石清水は八幡神輿を奉じて強訴しよ
うと。朝廷は、それに対する対応策として、因幡国務の権限を石清水に寄進して
、石清水を懐柔したということだ。石清水の力の成せる技かと。



(ウキペディアより 僧形八幡神像)

- ① 日時 2019年7月24日(水) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴14回目です。新しくスタートしています。
前のお話と違う部分も話されるそうです。

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。